

設置計画の概要

事項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	研究科の専攻の設置
フリガナ者	コクリツダイガクホウジン トウキョウゲイジュツダイガク 国立大学法人 東京芸術大学
フリガナ者	トウキョウゲイジュツダイガク 東京芸術大学 (Tokyo University of the Arts)
新設学部等において養成する人材像	<p>【グローバルアートプラクティス専攻】</p> <p>① 社会に対して芸術が果たすべき役割を踏まえた芸術活動を展開し、国境を超えて多彩な領域で活躍できる先導的な芸術家、とりわけ、現代美術分野において、我が国独自の制作手法(ジャパンオリジナル)を応用した芸術文化価値の創出や国際発信等を推進できる人材や、地域における芸術文化潜在力を活かした地域創生や国際展開等、昨今の社会的ニーズを踏まえた新たな芸術活動の創出・実践を牽引できる人材を養成する。</p> <p>② 芸術と社会実践(アートプラクティス)を通じた成果の還元や国際展覧会への出品など、美術諸領域の横断的・複合的な取り組みや我が国独自の制作手法(ジャパンオリジナル)の応用等を通じ、新たな感性や芸術表現力を育てる。</p> <p>③ 国際的に活躍する現代美術作家、新たな芸術活動の創出・実践を牽引できる美術作家、博士後期課程進学者 等。</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>【絵画専攻】</p> <p>(絵画専攻：日本画研究分野)</p> <p>① 日本画の作家及び美術にかかわる諸分野での指導的人材を養成する。</p> <p>② 現代絵画としての創造性の追求と同時に、我が国の美術の伝統・精神を継承し、これを発展させることを目標としている。</p> <p>③ 現代日本画の代表的作家、博士後期課程進学者 等。</p> <p>(絵画専攻：油画研究分野、版画研究分野、壁画研究分野、油画技法・材料研究分野)</p> <p>① 世界に発信する日本独自の絵画芸術の研究拠点として、多様化した表現を統合する新しい絵画の概念を構築すると共に、伝統的技術から先端技術に跨がる様々な表現媒体を駆使して表現していく若い芸術家、研究者の人材を養成する。</p> <p>② 自己の表現領域において更に専門的に創作研究を行い、社会に対応する独創性豊かな能力を、また、他分野の専門領域の理解を深め、表現内容とその表現手段を、社会に対応する美術表現に結びつける方法の修得を目標としている。</p> <p>③ 絵画作家・造形作家・写真家・映像作家などの現代の代表的な芸術家、大学等の教員、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【彫刻専攻】</p> <p>① 幅広い造形の研究に重点をおき、過去の美術の歴史や日本美術の伝統を踏まえながら世界に視野を広げ将来の美術を展望できるような豊かな感性を持つ人材を養成し、また、将来作家として独創性あふれる自由な創作活動が行え、美術にかかわる諸分野での指導的役割が果たせるような人材を養成する。</p> <p>② 学士課程で習得した基礎能力や技術を基に、広い視野から、より積極的、専門的な彫刻の表現能力の修得を目標としている。</p> <p>③ 彫刻作家、文化財(彫刻)修復者、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【工芸専攻】</p> <p>① 歴史に裏付けされた伝統に基づく工芸技術の基本を学び、現代の多様化する社会における価値観や技術を吸収しつつ、さらなる発展をなし得る能力を身につけたアーティストを養成する。</p> <p>② 各専門分野(彫金、鍍金、鍛金、陶芸、染織、木工芸)において創作研究を進め、独自の工芸創作表現の修得を目標としている。</p> <p>③ ジュエリー作家、鍛金家、鍍金家、陶芸家、染織家、クラフト作家、インテリアデザイナー、プロダクトデザイナー、大学教員、工芸教室の講師、ジュエリー会社経営、造幣局員、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【デザイン専攻】</p> <p>① ますます多様化する造形デザインに柔軟に対応できる豊かな感性と創造力をもった人材を養成する。</p> <p>② 幅広い教養と高い造形力の追求、時代を創造する真摯な創造精神の育成を目標としている。</p> <p>③ クリエーター(製造・宣伝・企画・映像・ゲーム・ソフト機器・放送・出版・建設・インテリア関係のデザイン部門)、大学等の教員、デザイン作家、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【建築専攻】</p> <p>① 本学建築専攻は、美術系研究科に属する我が国でも稀有な教育機関であり、専ら創造的な設計活動を行う建築家の養成を目的としている。</p> <p>② 建築設計実技を通して建築の知識や技術を学び、建築家として必要な総合的能力を養うことを目標としている。</p> <p>③ 建築家、著名な建築設計事務所や総合建築業の建築技術者、大学等の教員、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【先端芸術表現専攻】</p> <p>① 表現の技法やメディアにとらわれない発想や思考から、自ら表現をスタートする新しいタイプのアーティストを、及び広く社会に開かれた視点を持ち、多様な思想や異なった感性を持った人々とも、自由にコミュニケーションできるような、柔軟でアクティブな姿勢をもった人材を養成する。</p> <p>② 社会と人間の在り方を提言したり、表現することのできる能力、次世代の新たなメディアやその機能を切り開く能力、コミュニティーに根ざしたアートの現場を作り出す能力等の修得を目標としている。</p> <p>③ インディペンデントな起業家、ファンリレーター、プロデューサー、編集者、大学等の教員、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【芸術学専攻】</p> <p>① 伝統のなかで培われた創造性を身につけ、新たな時代に対応し、優れたオリジナリティを発揮できる人材を養成する。</p> <p>② 美学、美術史学を通して美術を中心とする諸芸術に関する認識を深めることで、理論的分析や解釈をもって多様な芸術の分野に貢献できる能力の修得を目標としている。</p> <p>③ 美術館学芸員、美術批評家、研究者、ジャーナリスト、博士後期課程進学者 等。</p> <p>【文化財保存学専攻】</p> <p>① 我が国のみではなく広く人類共通の遺産を守ることを目的とし、文化財の保存修復に関する研究と、文化財の保存修復技術と研究にあたる専門家を養成する。</p> <p>② 保存修復に関する基礎知識の修得の他、各研究領域(日本画、油画、彫刻、工芸、建造物等)で模写、模刻、修理などを行い伝統技法や技術を習得し、保存修復に必要な能力を養うことを目標としている。</p> <p>③ 大学等の教員、研究者(修復工房、美術館・博物館、地方公共団体)、プロデューサー、博士後期課程進学者 等。</p>

新設学部等において取得可能な資格		なし										
既設学部等において取得可能な資格		【絵画専攻、彫刻専攻、工芸専攻、デザイン専攻、建築専攻、先端芸術表現専攻、文化財保存学専攻、芸術学専攻】 中学・高校教員1種(美術, 工芸) ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要										
新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
	美術研究科 [Graduate School of Fine Arts]	グローバルアートプラクティス専攻 【修士課程】 [Global Art Practice Course]	2	18	-	36	修士(美術)	美術関係	平成28年4月	絵画専攻	1	1
										彫刻専攻	1	1
										工芸専攻	1	0
									先端芸術表現専攻	3	2	
									計	6	4	
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
	美術研究科	絵画専攻 【修士課程】	2	47	-	94	修士(美術)	美術関係	昭和38年4月	グローバルアートプラクティス専攻	1	1
										絵画専攻	20	10
										計	21	11
	美術研究科	彫刻専攻 【修士課程】	2	15	-	30	修士(美術)	美術関係	昭和38年4月	グローバルアートプラクティス専攻	1	1
										彫刻専攻	7	4
										計	8	5
	美術研究科	工芸専攻 【修士課程】	2	28	-	56	修士(美術)	美術関係	昭和38年4月	グローバルアートプラクティス専攻	1	0
										工芸専攻	14	8
										計	15	8
	美術研究科	デザイン専攻 【修士課程】	2	30	-	60	修士(美術)	美術関係	昭和50年4月	デザイン専攻	11	5
										計	11	5
										建築専攻	9	4
	美術研究科	建築専攻 【修士課程】	2	16	-	32	修士(美術)	美術関係	昭和38年4月	計	9	4
先端芸術表現専攻										3	2	
先端芸術表現専攻										9	5	
美術研究科	先端芸術表現専攻 【修士課程】	2	24	-	48	修士(先端表現)	美術関係	平成15年4月	計	12	7	
									芸術学専攻	16	7	
									計	16	7	
美術研究科	芸術学専攻 【修士課程】	2	21	-	42	修士(美術)	美術関係	昭和38年4月	文化財保存学専攻	10	7	
									計	10	7	
									計	10	7	
【備考欄】												
○平成28年度からの入学定員は以下のとおり。												
絵画専攻 47人 → 50人 +3												
彫刻専攻 15人 → 13人 △2												
工芸専攻 28人 → 26人 △2												
デザイン専攻 30人 → 30人												
建築専攻 16人 → 18人 +2												
先端芸術表現専攻 24人 → 22人 △2												
芸術学専攻 21人 → 21人												
文化財保存学専攻 18人 → 18人												
グローバルアートプラクティス専攻 0人 → 18人												

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻(M)【新設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手				
実践科目	アートプラクティスⅠ	1前	4					○	4	2							
	アートプラクティスⅡ	1後	4					○	4	2							
	アートプラクティスⅢ	2前	4					○	4	2							
	アートプラクティスⅣ	2後	4					○	4	2							
	アートコミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼1	集中	
	アートコミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼1	集中	
	アートコミュニケーションⅢ	2前	1				○								兼1	集中	
	アートコミュニケーションⅣ	2後	1				○								兼1	集中	
	社会実践概論Ⅰ	1前	1				○			1					兼1	集中	
	社会実践概論Ⅱ	2後	1				○			1					兼1	集中	
	工房演習Ⅰ	1前		2				○		1						兼1	集中
	工房演習Ⅱ	1前		2				○							兼1	集中	
	工房演習Ⅲ	1前		2				○							兼1	集中	
	工房演習Ⅳ	1後		2				○							兼1	集中	
	工房演習Ⅴ	1後		2				○							兼1	集中	
	工房演習Ⅵ	1後		2				○							兼1	集中	
小計(16科目)		—	22	12	0			—	4	2	0	0	0	兼11	—		
基礎科目	日本アート概論Ⅰ	1前		1			○								兼1	集中	
	日本アート概論Ⅱ	1前		1			○								兼1	集中	
	日本アート概論Ⅲ	1後		1			○								兼1	集中	
	日本アート概論Ⅳ	1後		1			○								兼1	集中	
	日本文化体験演習	1通		2				○							兼1	集中	
	古美術研究旅行	1後		2					○						兼1	集中	
小計(6科目)		—	0	8	0			—	0	0	0	0	0	兼6	—		
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	4	2							
	小計(1科目)		—	0	0	0		—	4	2	0	0	0	0	0	—	
合計(23科目)			—	22	20	0		—	4	2	0	0	0	兼17	—		
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野			美術関係											

I 設置の趣旨・必要性

グローバル化の急速な進展に伴い、芸術分野においては、社会との関係性を踏まえた新たな芸術活動を重視する傾向が強まるとともに、芸術活動に対する批評とフィードバックを通じた、新たな芸術文化価値の創出への期待が飛躍的に高まっている。

世界各国においては、現代美術を中心として、芸術諸分野を融合した新たな芸術活動が、国家レベルの芸術文化政策として推進されており、例えば、ロンドン芸術大学（イギリス）、パリ国立高等美術学校（フランス）、ベルリン芸術大学（ドイツ）、シカゴ美術館附属美術大学（アメリカ）等、先進的な教育研究を展開する欧米芸術系大学では、分野を超越した学際的・ハイブリッド型の教育研究を実践し、作品等に対する講評や社会実践活動に重点を置くことで、領域を横断する思考力や批評的能力、卓越した実践力を涵養し、多彩な領域で活躍できるアーティストを育成・輩出することを通じて国際的評価を高めている。

東京芸術大学は、東京美術学校の時代から欧米の美術教育を模範として、世界水準の教育研究を展開してきたが、引き続き国際舞台で活躍できる芸術家を育成していく上で、上記潮流に即応していく必要がある。さらに欧米芸術系大学では、広く国際社会での実践を伴うプロジェクト実施等、国境を越え、多様性に富んだプログラムを展開し実績をあげていることから、本学においても、国際舞台での活動も視野に入れた、新たな大学院組織・人材育成プログラムを構築する必要がある。

加えて、国際競争力強化の観点から、文化芸術立国としての我が国の優位性を高めていく上でも、日本庭園や漆・和紙等の技術技法等我が国固有の芸術文化価値である「ジャパンオリジナル」を最大限活かした教育研究を推進し、個性的な人材育成プログラムを展開していく必要がある。

上記の点を踏まえ、今回設置するグローバルアートプラクティス専攻においては、絵画、彫刻、工芸、デザイン及び建築等、既に確立された美術諸分野の融合・統合によって、新たな芸術価値の創造を目指すものであり、国内外におけるプロジェクト実践を基盤とした作品制作にウェイトを置いた教育プログラムを展開していく。

II 教育課程編成の考え方・特色

上記設置の趣旨等を踏まえ、学際的なアプローチによる領域横断型プログラム構築を基本としたカリキュラムを編成することとし、「アートプラクティスⅠ～Ⅳ」の授業科目新設をはじめ、リサーチワークを基本としたプロジェクト実践等を体系的に導入し、「社会実践概論（ソーシャルプラクティス）」をコアとした編成とするとともに、「アートコミュニケーションⅠ～Ⅳ」等、グローバル化を踏まえた異文化理解やコミュニケーション能力、批判的視点等の強化に資する授業科目を新たに開設する。

なお、今般（平成27年2月23日）、本学において、ロンドン芸術大学、パリ国立高等美術学校及びシカゴ美術館附属美術大学の3機関との間で「国際共同カリキュラム構築に関する連携協定」を締結したことに伴い、これら海外芸術系大学からの一線級芸術家招聘による高度且つ実践的な専門指導や、海外芸術大学の教員・学生との共同により展開される社会実践活動等の実践的教育・国際共同プログラムを導入（「アートプラクティスⅠ～Ⅳ」として授業科目を共同化）することにより、国際舞台で活躍するための世界水準の実践力修得を目指す。

具体的には、「アートプラクティスⅠ～Ⅳ」において、作品制作（実技）を中心としたカリキュラムを編成することとし、海外芸術系大学から一線級アーティスト・学生をユニットとして誘致し、教員・学生の相互交流をはじめ、国際ビエンナーレ・トリエンナーレ等、各国で行われる国際芸術祭におけるアートプロジェクトを組み込んだ国際共同プロジェクトを基盤としつつ、「工房演習Ⅰ～Ⅵ」において、工房を活用した我が国固有の技術技法の習得と応用を目指すものであり、その他、実践科目群における実技・講義科目（アートプラクティスⅠ～Ⅳ及びアートコミュニケーションⅠ～Ⅳ）については、原則英語で授業を実施することや、留学生と日本人学生の共同チームの編成等を特色としている。

また、学生の学外でのアートプロジェクトの授業時間を確保するため、座学の講義・演習科目は集中講義形式で実施することとし、作品制作（実技）を中心とした時間割を配置した。さらに、留学生を対象とした授業として、日本美術及び体験型の日本文化学習を開講する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
本研究科に2年以上在学し、また、実践科目26単位、基礎科目から4単位以上を修得し、かつ、修士作品の審査及び最終試験に合格しなければならない。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科絵画専攻(M) <日本画研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	日本画研究Ⅰ	1前	8					○	4	2		1			
	日本画研究Ⅱ	1後	8					○	4	2		1			
	日本画研究Ⅲ	2前	7					○	4	2		1			
	日本画研究Ⅳ	2後	7					○	4	2		1			
	小計(4科目)	—	30	0	0	—			4	2	0	1	0	0	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼2
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	4	2					
	小計(1科目)	—	0	0	0	—			4	2	0	0	0	0	—
合計(6科目)		—	30	1	0	—			4	2	0	1	0	兼2	—
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科絵画専攻(M) <油画研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	絵画造形研究Ⅰ(前期)	1前	8					○	3	3		1			
	絵画造形研究Ⅰ(後期)	1後	8					○	3	3		1			
	絵画造形研究Ⅱ(前期)	2前	8					○	3	3		1			
	絵画造形研究Ⅱ(後期)	2後	8					○	3	3		1			
	小計(4科目)	—	32	0	0	—			3	3	0	1	0	0	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼2
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	3	3					
	小計(1科目)	—	0	0	0	—			3	3	0	0	0	0	—
合計(6科目)		—	32	1	0	—			3	3	0	1	0	兼2	—
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科絵画専攻(M) <版画研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	版画創作研究Ⅰ(前期)	1前	8					○	1	1					兼1
	版画創作研究Ⅰ(後期)	1後	8					○	1	1					兼1
	版画創作研究Ⅱ(前期)	2前	8					○	1	1					
	版画創作研究Ⅱ(後期)	2後	8					○	1	1					
	小計(4科目)	—	32	0	0	—			1	1	0	0	0	兼2	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	1	1					
	小計(1科目)	—	0	0	0	—			1	1	0	0	0	0	—
合計(6科目)		—	32	1	0	—			1	1	0	0	0	兼3	—
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科絵画専攻(M) <壁画研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	壁画創作研究Ⅰ(前期)	1前	8					○	2						兼1	
	壁画創作研究Ⅰ(後期)	1後	8					○	2						兼1	
	壁画創作研究Ⅱ(前期)	2前	8					○	2							
	壁画創作研究Ⅱ(後期)	2後	8					○	2							
	小計(4科目)	—	32	0	0			—	2	0	0	0	0	0	兼2	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1	
	インターンシップⅠ	1通		1					2							
	インターンシップⅡ	2通		1					2							
	小計(3科目)	—	0	3	0			—	2	0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	2							
	小計(1科目)	—	0	0	0			—	2	0	0	0	0	0	0	—
合計(8科目)		—	32	3	0			—	2	0	0	0	0	0	兼3	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科絵画専攻(M) <油画技法・材料研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	絵画造形研究Ⅰ(前期)	1前	5					○		2					
	絵画造形研究Ⅰ(後期)	1後	5					○		2					
	絵画造形研究Ⅱ(前期)	2前	6					○		2					
	絵画造形研究Ⅱ(後期)	2後	6					○		2					
	絵画技術研究Ⅰ(前期)	1前	2					○							兼2
	絵画技術研究Ⅰ(後期)	1後	2					○							兼2
	絵画技術研究Ⅱ(前期)	2前	1					○							兼2
	絵画技術研究Ⅱ(後期)	2後	1					○							兼2
	絵画材料研究及び実験Ⅰ(前期)	1前	2					○		2					兼1
	絵画材料研究及び実験Ⅰ(後期)	1後	1					○		2					兼1
	絵画材料研究及び実験Ⅱ(前期)	2前	2					○		2					兼1
	絵画材料研究及び実験Ⅱ(後期)	2後	1					○		2					兼1
小計(12科目)	—	—	34	0	0	—	—	—	0	2	0	0	0	兼3	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1
	小計(1科目)	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○		2					
	小計(1科目)	—	0	0	0	—	—	—	0	2	0	0	0	0	—
合計(14科目)		—	34	1	0	—	—	—	0	2	0	0	0	兼4	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野					美術関係							

教育課程等の概要(事前伺い)														
(大学院美術研究科彫刻専攻(M)【既存】)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	彫刻実技研究Ⅰ	1前	8					○	4	2		1		兼2
	彫刻実技研究Ⅱ	1後	7					○	4	2		1		兼2
	彫刻実技研究Ⅲ	2前	8					○	4	2		1		兼3
	彫刻実技研究Ⅳ	2後	7					○	4	2		1		兼3
	小計(4科目)	—	30	0	0	—			4	2	0	1	0	兼5
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○						兼2
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼2
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	4	2				
	小計(1科目)	—	0	0	0	—			4	2	0	0	0	—
合計(6科目)		—	30	1	0	—			4	2	0	1	0	兼7
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係						

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻(M) <彫金研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	彫金技法研究Ⅰ	1前	6					○	1	1			1		
	彫金技法研究Ⅱ	1後	6					○	1	1					
	彫金技法研究Ⅲ	2前	6					○	1	1					
	彫金技法研究Ⅳ	2後	6					○	1	1					
	彫金制作法Ⅰ	1前	1					○	1	1					
	彫金制作法Ⅱ	1後	1					○	1	1					
	彫金制作法Ⅲ	2前	1					○	1	1					
	彫金制作法Ⅳ	2後	1					○	1	1					
	精密鑄造法Ⅰ	1前	2					○	1	1					兼1
小計(9科目)	—	30	0	0			—	1	1	0	1	0	兼1	—	
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1
	小計(1科目)	—	0	1	0			—	0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	1	1					
	小計(1科目)	—	0	0	0			—	1	1	0	0	0	0	—
合計(11科目)		—	30	1	0			—	1	1	0	1	0	兼2	—
学位又は称号	修士(美術)	学位又は学科の分野			美術関係										

教育課程等の概要 (事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻 (M) <鍛金研究分野> 【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	鍛金技法研究 I	1前	6					○	1	1						
	鍛金技法研究 II	1後	6					○	1	1						
	鍛金技法研究 III	2前	6					○	1	1						
	鍛金技法研究 IV	2後	6					○	1	1						
	鍛金制作法 I	1前	1					○	1	1						
	鍛金制作法 II	1後	1					○	1	1						
	鍛金制作法 III	2前	1					○	1	1						
	鍛金制作法 IV	2後	1					○	1	1						
	精密鑄造法 I	1前	2					○	1	1					兼1	
小計 (9科目)	—	30	0	0			—	1	1	0	0	0	0	兼1	—	
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1	
	小計 (1科目)	—	0	1	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	1	1						
	小計 (1科目)	—	0	0	0			—	1	1	0	0	0	0	—	
合計 (11科目)		—	30	1	0			—	1	1	0	0	0	0	兼2	—
学位又は称号	修士 (美術)		学位又は学科の分野				美術関係									

教育課程等の概要 (事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻 (M) < 鑄金研究分野 > 【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	鑄金技法研究 I	1前	6					○	2							
	鑄金技法研究 II	1後	6					○	2							
	鑄金技法研究 III	2前	6					○	2							
	鑄金技法研究 IV	2後	6					○	2							
	鑄金制作法 I	1前	1					○	2							
	鑄金制作法 II	1後	1					○	2							
	鑄金制作法 III	2前	1					○	2							
	鑄金制作法 IV	2後	1					○	2							
	溶接法 I	1前	1					○								兼1
	溶接法 II	1後	1					○								兼1
	小計 (10科目)	—	30	0	0			—	2	0	0	0	0		兼1	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○								兼1
	小計 (1科目)	—	0	1	0			—	0	0	0	0	0		兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	2							
	小計 (1科目)	—	0	0	0			—	2	0	0	0	0		0	—
合計 (12科目)		—	30	1	0			—	2	0	0	0	0		兼2	—
学位又は称号		修士 (美術)		学位又は学科の分野				美術関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻(M) <漆芸研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	漆造形・装飾技法研究Ⅰ	1前	7					○	1	1					
	漆造形・装飾技法研究Ⅱ	1後	6					○	1	1					
	漆造形・装飾技法研究Ⅲ	2前	8					○	1	1					
	漆造形・装飾技法研究Ⅳ	2後	7					○	1	1					
	漆芸歴史研究Ⅰ	1前	1					○							兼1
	漆芸歴史研究Ⅱ	1後	1					○							兼1
	小計(6科目)	—	30	0	0			—	1	1	0	0	0	0	兼1 —
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1
	小計(1科目)	—	0	1	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1 —
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	1	1					
	小計(1科目)	—	0	0	0			—	1	1	0	0	0	0	0 —
合計(8科目)		—	30	1	0			—	1	1	0	0	0	0	兼2 —
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係							

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻(M) <陶芸研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手				
必修科目	陶磁技法研究Ⅰ	1前	6					○	2								
	陶磁技法研究Ⅱ	1後	6					○	2								
	陶磁技法研究Ⅲ	2前	7					○	2								
	陶磁技法研究Ⅳ	2後	7					○	2								
	窯炉制作実習	1前	2					○	2							兼1	
	登り窯実習	1後	2					○	2							兼1	
	小計(6科目)	—	30	0	0			—	2	0	0	0	0	0		兼1	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○								兼1	
	小計(1科目)	—	0	1	0			—	0	0	0	0	0	0		兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	2								
	小計(1科目)	—	0	0	0			—	2	0	0	0	0	0	0	0	—
合計(8科目)		—	30	1	0			—	2	0	0	0	0	0	0	兼2	—
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻(M) <染織研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
選択必修科目	染技法研究Ⅰ	1前		8				○	1	1						
	染技法研究Ⅱ	1後		7				○	1	1						
	染技法研究Ⅲ	2前		8				○	1	1						
	染技法研究Ⅳ	2後		7				○	1	1						
	織技法研究Ⅰ	1前		8				○	1	1						
	織技法研究Ⅱ	1後		7				○	1	1						
	織技法研究Ⅲ	2前		8				○	1	1						
	織技法研究Ⅳ	2後		7				○	1	1						
小計(8科目)		—	0	60	0	—			1	1	0	0	0	0	—	
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1	
	小計(1科目)		—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	1	1						
	小計(1科目)		—	0	0	0	—			1	1	0	0	0	0	—
合計(10科目)		—	0	1	0	—			1	1	0	0	0	0	兼1	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻(M) <木工芸研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	木材造形研究Ⅰ	1前	4					○			1				兼1
	木材造形研究Ⅱ	1後	4					○			1				兼1
	木材造形研究Ⅲ	2前	4					○			1				
	木材造形研究Ⅳ	2後	4					○			1				
	木工技法材料研究Ⅰ	1前	4					○			1				
	木工技法材料研究Ⅱ	1後	3					○			1				
	木工技法材料研究Ⅲ	2前	4					○			1				
	木工技法材料研究Ⅳ	2後	3					○			1				
小計(8科目)	—	30	0	0	—				0	0	1	0	0	兼1	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1
	小計(1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○			1				
	小計(1科目)	—	0	0	0	—			0	0	1	0	0	0	—
合計(10科目)		—	30	1	0	—			0	0	1	0	0	兼2	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科工芸専攻(M) <ガラス造形研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	ガラス技法研究Ⅰ	1前	5					○		1						
	ガラス技法研究Ⅱ	1後	5					○		1						
	ガラス技法研究Ⅲ	2前	5					○		1						
	ガラス技法研究Ⅳ	2後	5					○		1						
	古典技法研究Ⅰ	1前	2					○		1						
	古典技法研究Ⅱ	1後	1					○		1						
	古典技法研究Ⅲ	2前	2					○		1						
	古典技法研究Ⅳ	2後	1					○		1						
	溶解炉実習Ⅰ	1前	1					○		1						兼1
	溶解炉実習Ⅱ	1後	1					○		1						兼1
	溶解炉実習Ⅲ	2前	1					○		1						兼1
	溶解炉実習Ⅳ	2後	1					○		1						兼1
小計(12科目)	—	—	30	0	0	—	—	—	0	1	0	0	0	0	兼1	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○								兼1
	小計(1科目)	—	—	0	1	0	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○		1						
	小計(1科目)	—	—	0	0	0	—	—	0	1	0	0	0	0	0	—
合計(14科目)		—	—	30	1	0	—	—	0	1	0	0	0	0	兼2	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野					美術関係								

教育課程等の概要(事前伺い)															
(大学院美術研究科デザイン専攻(M)【既存】)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	デザイン研究Ⅰ	1前	5					○	5	5		1			
	デザイン研究Ⅱ	1後	5					○	5	5		1			
	デザイン研究Ⅲ	2前	5					○	5	5		1			
	デザイン研究Ⅳ	2後	5					○	5	5		1			
	デザイン特論	1・2通	4					○	5	5		1			
	デザインプロジェクト	1前	4					○	5	5		1			
	小計(6科目)	—	28	0	0	—			5	5	0	1	0	0	—
選択科目	アートディレクションⅠ	1通		2				○						兼1	
	アートディレクションⅡ	2通		2				○	1					兼6	
	パブリックアート	1・2通		2				○						兼2	
	環境デザイン	1・2通		2				○						兼4	
	プロダクトプランニングⅠ	1通		2				○						兼3	
	プロダクトプランニングⅡ	2通		2				○						兼6	
	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○						兼3	
小計(7科目)	—	0	13	0	—			1	0	0	0	0	兼25	—	
特別研究	特別研究指導	1・2通						○	5	5					
	小計(1科目)	—	0	0	0	—			5	5	0	0	0	0	—
合計(14科目)		—	28	13	0	—			5	5	0	1	0	兼25	—
学位又は称号		修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係							

教育課程等の概要(事前伺い)																
(大学院美術研究科建築専攻(M)【既存】)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
選択必修科目	建築設計研究第1	1前		4				○			4	4		1		
	建築設計研究第2	1後		4				○			4	4		1		
	建築設計研究第3	2前		6				○			4	4		1		
	構造論研究第1	1前		4				○			4	4		1		
	構造論研究第2	1後		4				○			4	4		1		
	構造論研究第3	2前		6				○			4	4		1		
	建築史研究第1	1前		4				○			4	4		1		
	建築史研究第2	1後		4				○			4	4		1		
	建築史研究第3	2前		6				○			4	4		1		
小計(9科目)	—	0	42	0			—			4	4	0	1	0	0	—
選択科目	建築設計I-I	1前		2				○								兼1
	建築設計I-II	1後		2				○								兼1
	建築設計II-I	2前		2				○								兼1
	建築設計II-II	2後		2				○								兼1
	特論 建築史I	1前		2				○			1					
	特論 建築史II	1後		2				○			1					
	特論 建築史III	1前		2				○								兼1
	特論 環境計画I	1前		2				○								
	特論 環境計画II	1後		2				○								
	特論 建築都市計画論I	1前		2				○								兼1
	特論 建築都市計画論II	1後		2				○								兼1
	特論 建築論	1後		2				○								兼1
	インターンシップ	1・2通		4						○	1					集中
	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1					○							兼1
小計(14科目)	—	0	29	0			—			3	0	0	0	0	0	兼7
特別研究	特別研究指導	1・2通							○		4	4				
	小計(1科目)	—	0	0	0		—			4	4	0	0	0	0	—
合計(24科目)		—	0	71	0		—			4	4	0	1	0	兼7	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科芸術学専攻(M) <美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	美学特講Ⅰ	1前		2		○			1	1					兼3
	美学特講Ⅱ	1後		2		○			1	1					兼3
	美学特講Ⅲ	2前		2		○			1	1					兼3
	美学特講Ⅳ	2後		2		○			1	1					兼3
	美学演習Ⅰ	1通		4			○		1	1					
	美学演習Ⅱ	2通		4			○		1	1					
	美学課題演習Ⅰ	1通		4			○		1	1		1			
	美学課題演習Ⅱ	2通		4			○		1	1		1			
	日本美術史特講Ⅰ	1前		2		○			2	1					兼1
	日本美術史特講Ⅱ	1後		2		○			2	1					兼1
	日本美術史特講Ⅲ	2前		2		○			2	1					兼1
	日本美術史特講Ⅳ	2後		2		○			2	1					兼1
	日本美術史演習Ⅰ	1通		4			○		2	1					兼1
	日本美術史演習Ⅱ	2通		4			○		2	1					兼1
	日本美術史課題演習Ⅰ	1通		4			○		2	1					
	日本美術史課題演習Ⅱ	2通		4			○		2	1					
	工芸史特講Ⅰ	1前		2		○				1					
	工芸史特講Ⅱ	1後		2		○				1					
	工芸史特講Ⅲ	2前		2		○				1					
	工芸史特講Ⅳ	2後		2		○				1					
	工芸史課題演習Ⅰ	1通		4			○			1					
	工芸史課題演習Ⅱ	2通		4			○			1					
	西洋美術史特講Ⅰ	1前		2		○			2	1					兼4
	西洋美術史特講Ⅱ	1後		2		○			2	1					兼4
	西洋美術史特講Ⅲ	2前		2		○			2	1					兼4
	西洋美術史特講Ⅳ	2後		2		○			2	1					兼4
	西洋美術史演習Ⅰ	1通		4			○		2	1					兼4
	西洋美術史演習Ⅱ	2通		4			○		2	1					兼4
	西洋美術史課題演習Ⅰ	1通		4			○		2	1					
	西洋美術史課題演習Ⅱ	2通		4			○		2	1					
小計(30科目)		—	0	88	0	—	—	—	5	4	0	1	0	兼8	—
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1			○								兼1
	小計(1科目)		—	0	1	0	—	—	0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通					○		5	4					
	小計(1科目)		—	0	0	0	—	—	5	4	0	0	0	0	—
合計(32科目)			—	0	89	0	—	—	5	4	0	1	0	兼9	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科芸術学専攻(M) <美術教育研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	美術教育論Ⅰ	1前	2			○				1					兼1
	美術教育論Ⅱ	1後	2			○				1					兼1
	構成論演習Ⅰ	1前	2				○		1						兼1
	構成論演習Ⅱ	1後	2				○		1						兼1
	素材論演習Ⅰ	1前	2				○		1						兼1
	素材論演習Ⅱ	1後	2				○		1						兼1
	美術教育実技Ⅰ	1前	2					○	2	1					
	美術教育実技Ⅱ	1後	2					○	2	1					
	美術教育実技Ⅲ	2前	2					○	2	1					
	美術教育実技Ⅳ	2後	2					○	2	1					
	課題研究Ⅰ	2前	2					○	2	1		2			
	課題研究Ⅱ	2後	2					○	2	1		2			
小計(12科目)	—	—	24	0	0	—	—	—	2	1	0	2	0	兼3	—
選択科目	美術教育ゼミⅠ-I(論文演習)	1前		2			○			1					
	美術教育ゼミⅠ-II(論文演習)	1後		2			○			1					
	美術教育ゼミⅠ-III(論文演習)	2前		2			○			1					
	美術教育ゼミⅠ-IV(論文演習)	2後		2			○			1					
	美術教育ゼミⅡ-I(立体表現・理論)	1前		2			○		1						
	美術教育ゼミⅡ-II(立体表現・理論)	1後		2			○		1						
	美術教育ゼミⅡ-III(立体表現・理論)	2前		2			○		1						
	美術教育ゼミⅡ-IV(立体表現・理論)	2後		2			○		1						
	美術教育ゼミⅢ-I(平面表現・理論)	1前		2			○		1						
	美術教育ゼミⅢ-II(平面表現・理論)	1後		2			○		1						
	美術教育ゼミⅢ-III(平面表現・理論)	2前		2			○		1						
	美術教育ゼミⅢ-IV(平面表現・理論)	2後		2			○		1						
	関連講義・演習(2)	1・2通	4					○	1						
	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		4	1			○							兼1
小計(14科目)	—	—	4	25	0	—	—	—	2	1	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通					○		2	1					
	小計(1科目)	—	—	0	0	0	—	—	2	1	0	0	0	0	—
合計(27科目)		—	—	28	25	0	—	—	2	1	0	2	0	兼4	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科芸術学専攻(M) <美術解剖研究分野>【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	特殊特講Ⅰ	1前	2			○				1					兼1	
	特殊特講Ⅱ	1後	2			○				1					兼1	
	特殊特講Ⅲ	2前	2			○				1						
	特殊特講Ⅳ	2後	2			○				1						
	演習Ⅰ	1前	2				○			1						
	演習Ⅱ	1後	2				○			1						
	演習Ⅲ	2前	2				○			1						
	演習Ⅳ	2後	2				○			1						
	解剖学実習Ⅰ	1前	2					○		1						
	解剖学実習Ⅱ	1後	2					○		1						
	解剖学実習Ⅳ	2前	2					○		1						
	解剖学実習Ⅴ	2後	2					○		1						
	課題研究Ⅰ	1前	2					○		1					集中	
	課題研究Ⅱ	1後	2					○		1					集中	
	課題研究Ⅲ	2前	2					○		1					集中	
	課題研究Ⅳ	2後	2					○		1					集中	
小計(16科目)		—	32	0	0		—		0	1	0	0	0	兼1	—	
選択科目	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1				○							兼1	
	小計(1科目)		—	0	1	0		—		0	0	0	0	0	兼1	—
特別研究	特別研究指導	1・2通						○			1					
	小計(1科目)		—	0	0	0		—		0	1	0	0	0	0	—
合計(18科目)			—	32	1	0		—		0	1	0	0	0	兼2	—
学位又は称号	修士(美術)		学位又は学科の分野				美術関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院美術研究科先端芸術表現専攻(M)【既存】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	芸術資料集成特別講義(レキシコン)	1・2通	4			○			5	3					
	ヴィジティング・アーティスト特別講義	1・2通	4			○			5	3					
	プロジェクト実践演習Ⅰ-I	1前	4				○		5	3					
	プロジェクト実践演習Ⅰ-II	1後	4				○		5	3					
	プロジェクト実践演習Ⅱ-I	2前	4				○		5	3					
	プロジェクト実践演習Ⅱ-II	2後	4				○		5	3					
	芸術資料集成特別演習Ⅰ(先端フォーラム)	1・2通	4					○	5	3			1		
	小計(7科目)	—	28	0	0				5	3	0	1	0	0	—
選択科目	メディア音楽演習	1前		4			○								兼1
	プログラミング演習Ⅰ	1前		4			○								兼1
	プログラミング演習Ⅱ	1後		4			○								兼1
	写真表現演習Ⅰ	1前		4			○								兼1
	写真表現演習Ⅱ	1後		4			○								兼1
	映像演習Ⅰ	1前		4			○								兼1
	映像演習Ⅱ	1後		4			○								兼1
	ドローイング演習	1前		4			○			1					
	プレゼンテーション演習	1後		4			○								兼1
	美術研究科プロジェクト演習	1・2通		1			○								兼1
	小計(10科目)	—	0	37	0				0	1	0	0	0	0	兼9
特別研究	特別研究指導	1・2通					○		5	3					
	小計(1科目)	—	0	0	0				5	3	0	0	0	0	—
合計(18科目)		—	28	37	0				5	3	0	1	0	兼9	—
学位又は称号	修士(芸術表現)		学位又は学科の分野			美術関係									

教育課程等の概要 (事前伺い)														
(大学院美術研究科文化財保存学専攻 (M) 【既存】)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習・実技	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	文化財保存学演習Ⅰ-1	1前	1				○		7	2		1		
	文化財保存学演習Ⅱ-1	1後	1				○		7	2		1		
	文化財保存学演習Ⅰ-2	2前	1				○		7	2		1		
	文化財保存学演習Ⅱ-2	2後	1				○		7	2		1		
	文化財保護概論	1・2通	2			○			1					
	課題研究Ⅰ	1通	4				○		7	2				
	課題研究Ⅱ	2通	6				○		7	2				
	小計 (7科目)	—	16	0	0		—		7	2	0	1	0	0
選択科目	保存環境計画論	1前		2		○								兼1
	文化財保護計画論	1後		2		○			1					
	古文化財研究	1通		4			○		1					集中
	文化財保存学Ⅰ	1通		4				○	1					
	文化財保存学Ⅱ	1通		4				○	1					
	材料技術論	1通		4		○								兼1
	修復実習	1通		4				○						兼1
	伝統技術研究	1通		4				○						兼1
	建築技術史特論A	1前		2		○			1					
	建築技術史特論B	1後		2		○								兼1
	建造物保存技術論	1前		2		○			1					
	都市遺産保存論	1後		2		○								兼1
	建造物調査・修復演習	1通		4			○		1					集中
	保存科学演習Ⅰ	1前		1			○		2	1				
	保存科学演習Ⅱ	1後		1			○		2	1				
	保存科学演習Ⅲ	2前		1			○		2	1				
	保存科学演習Ⅳ	2後		1			○		2	1				
	文化財測定学	1通		4		○			1					兼2
	美術工芸材料学	1通		4		○			1					
	材料実験学	1通		1		○			1					
	機器分析法	1通		2		○			2					
	機器分析実験	1通		2				○	2					
	保存環境学特論	1後		2		○								兼3
	修復計画論	1前		2		○								兼4
	修復材料学特論	1前		2		○								兼4
	日本美術史特論 (絵画)	1通		4		○								兼1
	日本美術史特論 (彫刻)	1通		4		○								兼1
	西洋美術史特論	1通		4		○								兼1
	日本工芸史特論	1通		4		○								兼1
	色彩概論	1通		4		○								兼1
	埋蔵文化財保存論	1通		4		○								兼1
小計 (31科目)	—	0	87	0		—		4	1	0	0	0	兼21	—
特別研究	特別研究指導	1・2通					○		7	2				
	小計 (1科目)	—	0	0	0		—	7	2	0	0	0	0	—
合計 (39科目)		—	16	87	0		—	7	2	0	1	0	兼21	—
学位又は称号	修士 (文化財)		学位又は学科の分野			美術関係								